



がん相談支援センターだより

冬号
2026年1月発行

●インターネットや書籍などで入手できる がんに関する情報は全て正しいもの？？

現代の社会には、がんに関する情報がインターネット、SNS、テレビ、書籍などにあふれています。どの情報が正しくて、自分の状況に合っているのか見極めることはとても難しいことかもしれません。WHOでは、情報にあふれて困難さをもたらす状況を、『インフォデミック』と定義しています。

＜インフォデミックとは(WHO)＞

Information(情報)とepidemic(伝染病)を短縮した造語。伝染病のように、誤った情報が早く広がり、健康上の緊急対応に複雑さをもたらす状態のこと。(デマやフェイクニュースがあふれ、何を信じていいかわからなくなる、必要な時に信頼できる情報を見つけることができなくなる)

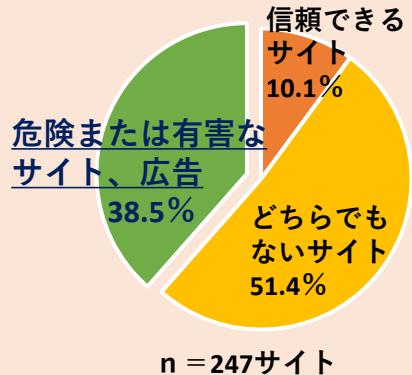
参考:国立がん研究センター主催『情報から始まるがん相談支援』(2025)研修資料

ある調査では、インターネット上有る医療情報を掲載しているサイトのうち、「信頼できる」と評価できるサイトは10%程度であったという結果も出ています。

(Ogasawara R:2018)

マスメディアでは面白さ、わかりやすさ、「見てよかったです」を高める演出がある(中山:2021)ことを理解して情報に触れることも重要です。

参考:国立がん研究センター主催『情報から始まるがん相談支援』(2025)研修資料



がん相談支援センターは、E棟1階 ドトールコーヒーサテライト店の裏側にあります(内線:1173) 平日9:00~17:00

●正しい情報を得るためのヒント

運営主体、執筆者について

公平な立場が求められる公的機関から発信された情報は信頼できる可能性が高まります。執筆者の社会的地位だけで判断せず、がんの専門家かどうかを調べてみましょう。

情報源は何か、公正な情報か

専門家個人の意見だけではなく、多くの人を対象とした試験の結果などに基づいているかどうかで信頼度は変わります。誇張や偏りがないかも重要です。

対象や目的は？

誰を対象とした情報なのか、営利目的かそうではないか、広告やスポンサー表示と区別されているかどうかも見てみましょう。

いつ更新された情報か

今見ている情報が最新か、定期的に更新されている情報かどうかも確認してみましょう。

参考:がん専門相談員のための学習の手引き第4版

●役立つ情報源のご紹介

がん情報サービス

国立がん研究センターが運営するWEBサイト。

誰にでもわかりやすい表現で、相談員も活用しています。疾患別の情報は冊子にもなっており、がん相談支援センターで無料でお渡ししています。



患者向け診療ガイドライン

疾患や治療のことだけではなく、生活面に関する情報も得られます。

がん相談支援センターにあるものは、どなたでもご覧いただけます。



がん専門相談員は、患者さんやご家族の情報探しのお手伝いをしております。ぜひお気軽にご相談ください♪